



であなたの手元に届くwebマガジン

おばこ稲作情報



2022年7月 No.3 1 JA秋田おばこ



Youtube はじめました



チャンネル登録 お願いします



幼穂形成期

生育回復も 圃場差大きい



減分期 低温に注意

管内のあきたこまちは幼穂形成期に入りました。

今年は一時期生育が停滞しましたが、生育が回復して例年並まで回復しています。幼穂形成期からは、水を必要とする時期ですので、まだ中干しをしている圃場では直ちに入水してください。

7月15日の生育調査結果では、草丈は長く、莖数はやや少ない、葉色はやや淡いく並となっていました。ここ数日の東風に吹かれ続けたため、葉色が低下しているように見えます。ただし、今

年も田植え日によって生育差が大きくなっています。早い田植えの圃場では、葉色35を下回らないように7月下旬に追肥を検討してください。遅い田植えの圃場、十分に田面が固まっていない圃場では、JAと相談をして追肥を検討してください。

葉色が下がりますと、その後、色がなかなか上がって来ず、登熟に影響して来ます。ただし、追肥は倒伏リスクがあることをお忘れなく。

来週末（7/23前後）に最高気温が25度を下回る天気予報が発表されました。

この時期の低温は一番ヤバいです。低温が予報されている数日前から深水管理（15cm以上）として幼穂を保護してください。

最新の天気予報を確認してください。

葉色35 下回らないように

5/21以前田植え圃場 → 7/20以降に穂肥検討

5/22以降田植え圃場 → 7/25以降に穂肥検討

【穂肥の目安】
おばこロマンみのり
おばこロマンめぐみ
現物5kg/10a

斑点米カメムシ多い！ 一斉草刈りデー 草刈りで住処無くせ

おばこ一斉草刈りデーは7/17～7/20です。

すくい取り調査で斑点米カメムシ類が多く確認されています。今後も虫の生育に適した気候が続くとみられていることから、斑点米被害増加に注意が必要です。対策の第一歩として、農道畦畔

の草刈りを実施し、カメムシの住処を無くしましょう。その後、通常防除とします。斑点米が多すぎると色彩選別機でも除ききれなくなってしまうです！

LINE公式アカウント 「@ja-obako」で検索 稲作情報発信中！



ガラケーでも！メルマガも始めました 稲作情報があなたの手元に！

